

令和8年度 学年別教育課程表

B 表

(表 面)

教育局	石狩
-----	----

北海道札幌英藍	高等学校	全日制課程
---------	------	-------

学科	普通科
----	-----

学 級 数	第1学年	6
	第2学年	7
	第3学年	7

教科	学年		1 年	2 年	3 年
	科目・標準単位数	類型			
国 語	現代の国語	2	2		
	言語文化	2	2		
	論理国語	4		2	2
	文学国語	4			0~4
	国語表現	4			
	古典探究	4		2	2
	○国語応用	3			0~3
	○現代文研究	2			0~2
	○古典講読	2		0~2	
	○実用国語	2			0~2
地 理 歴 史	地理総合	2	2		
	地理探究	3		0~4	
	歴史総合	2	2		
	日本史探究	3		0~4	
	世界史探究	3		0~4	
	○発展地理	3			0~3
	○発展日本史	3			0~3
	○発展世界史	3			0~3
公 民	公民	2		2	
	倫理	2			0~2
	政治・経済	2			0~3
数 学	数学Ⅰ	3	3		
	数学Ⅱ	4		4	
	数学Ⅲ	3			0~3
	数学A	2	2		
	数学B	2		0~2	0~2
	数学C	2			0~2
	○発展数学	2			0~2
	○数学に親しむ	2			0~2
	○数学研究	4			0~4
○数学応用	2			0~2	
理 科	科学と人間生活	2			
	物理基礎	2		2	0~3
	物理	4			0~5
	化学基礎	2	2		
	化学	4		2	0~4
	生物基礎	2	2		
	生物	4			0~5
	地学基礎	2		2	
	地学	4			
	○物理基礎応用	2		0~2	
	○化学基礎応用	2		0~2	
	○生物基礎応用	2		0~2	
	○基礎化学	2			0~2
○探究理科	2			0~2	
保 健 体 育	体育	7~8	2	2	3
	保健	2	1	1	
	○トレーニング基礎	2			0~2
	○トレーニング	2			0~2

B 表

(裏面)

北海道札幌英藍

高等学校

全日制課程

学科

普通科

教科	学年		1 年	2 年	3 年
	科目・標準単位数	類型			
芸術	音楽 I	2	2	0~2	
	音楽 II	2			
	音楽 III	2			
	美術 I	2			
	美術 II	2			
	美術 III	2			
	工芸 I	2			
	工芸 II	2			
	工芸 III	2			
	書道 I	2			
	書道 II	2			
	書道 III	2			
	○ 声楽実技	2			
	○ 色彩に親しむ	2			
○ 創作の書	2				
外国語	英語コミュニケーション I	3	3		
	英語コミュニケーション II	4		4	
	英語コミュニケーション III	4			4
	論理・表現 I	2	2		
	論理・表現 II	2		2	
	論理・表現 III	2			0~2
	○ 英語会話	2			0~2
	○ 発展英語	2			0~2
○ 英語に親しむ	3			0~3	
○ 実践英語	2			0~2	
家庭	家庭基礎	2		2	
	家庭総合	4			
情報	情報 I	2	2		
	情報 II	2			
理数	理数探究基礎	1			
	理数探究	2~5			
家庭	服飾手芸	2~4			0~2
	フードデザイン	2~8			0~2
	○ ライフデザイン	2			0~2
	○ 染物と織物	3			0~3
情報	課題研究	2~4			0~3
	情報の表現と管理	2~4		0~2	
	情報テクノロジー	2~4		0~2	
	情報システムのプログラミング	2~6			0~2
○ 情報応用	2			0~2	
各学科に共通する各教科・科目の計			0~29	25~29	13~29
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0	0~4	0~16
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0
総合的な探究の時間 (A I T)			3~6	1	1
合計			30	30	30
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領において履修順序が示されている科目は、そのとおり履修すること。 ・2年次では、理科から「物理基礎」「地学基礎」のどちらかを必ず履修すること。 ・2年次で「物理基礎」、「数学B」を履修した場合、3年次に継続して履修することはできない。 ・「物理」は「物理基礎」を履修した者が履修すること。 ・「数学に親しむ」、「トレーニング基礎」、「英語会話」は2年次、3年次のどちらかで選択可能である。 ・「数学に親しむ」、「トレーニング基礎」、「英語会話」は異年次混合授業を実施する。 ・3年次の「トレーニング基礎」と「トレーニング」を両方履修することはできない。 				

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。